



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

「聴く」～お互いを信じて行動しよう～



校長 鈴木克彦

まだまだ暑い日（残暑？）が続きますが、秋分の日（9月23日（火））も終わり、秋の涼しさを少しずつ感じることが出来る10月が始まります。運動会の練習も本番に向けて頑張っているところですが、本校だけでなく、市内では、「インフルエンザ」や「新型コロナ」に罹患してお休みをしている人も出てきています。熱中症も含め、健康・安全に過ごせるように、うがい・手洗いや、必要に応じてマスクをする、早寝・早起き、朝ごはんなど、自分でできることをしっかりとやって、元気に生活をしてほしいと思います。

さて、10月の大きな学校行事は、運動会です。今年の運動会のスローガンは、「**最後まで 光に向かって 走りぬけ**」、各軍のキャラクターは、**赤組「赤ダルマン」、青組「ブレイブホエールシャーク」、黄組「ボルトウルフ」**に決まりました。本番に向けて、紫帽子の6年生が中心となり、各組が優勝目指して頑張ってくれると思います。また、応援合戦、徒競走、各学年の技かけ、代表リレー（4・5・6年生）、全校種目「大玉送り」が計画され、個人・クラス・各組で力を出し切る場面がたくさんあると思います。



9月に、東京（国立競技場）で世界陸上大会が行われました。たくさんの方が、最後まで力を出し切り、頑張っている選手の姿を見て、涙し、感動を覚えた大会になりました。2学期始業式の日、「努力する+結果を出す=自信になる」、「努力する+結果が出ない=経験がのこる」という話をしました。

今年の運動会は、「**one for all / all for one**」で、努力を自信と経験に変えて、北小の校庭にいるすべての人が感動を覚える運動会をみんなの手で作り上げてほしいと思っています。

そこで、運動会を大成功させるために、「きく」というお話をします。自分の力を出し切るために、友達と協力して一つのものを作り上げる、お互いが信用できるようになるためには、「きく」ことが大切になります。

ぜひ、みなさんには、「聞く」ではなく、「聴く」という漢字で行動してほしいと思います。

「聞く」という漢字は、音や声を自然に感じ取ることです。「聴く」は、注意深く、あるいは積極的に耳を傾けて内容を理解しようとする意味で使われます。運動会の練習時には、「聴く」という漢字のように、『「耳」で聞くだけでなく、「目」で相手のことをしっかりと見て、「心」で考えながら行動する』ことを意識して、努力してほしいと思います。そうすることが、自分の自信や経験になり、心も体も大きく成長させることにつながります。

メジャーリーグで活躍する大谷選手も、「成功と失敗と言うけれど、失敗も次に生かせれば失敗じゃない。大事なのは、勇気をもってやってみることだと思います」と言っています。結果はそれぞれ違っても、全力で頑張る事が大切で、最後まで諦めずに頑張っている姿は輝いていて、すごく格好いいです。



毎日、みなさんが頑張って練習をしている姿をたくさん見てきました。18日（土）に実施される北小学校第67回運動会で、みなさんの恰好い姿をたくさん見られることを楽しみにしています。